

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成20年10月16日(2008.10.16)

【公開番号】特開2007-88819(P2007-88819A)

【公開日】平成19年4月5日(2007.4.5)

【年通号数】公開・登録公報2007-013

【出願番号】特願2005-275190(P2005-275190)

【国際特許分類】

H 03 H 9/17 (2006.01)

H 01 L 41/09 (2006.01)

H 01 L 41/187 (2006.01)

H 01 L 41/18 (2006.01)

H 01 L 41/22 (2006.01)

【F I】

H 03 H 9/17 F

H 01 L 41/08 C

H 01 L 41/18 1 0 1 B

H 01 L 41/18 1 0 1 D

H 01 L 41/18 1 0 1 Z

H 01 L 41/22 Z

【手続補正書】

【提出日】平成20年9月1日(2008.9.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1の電極と、

前記第1の電極上に圧電体層と、

前記圧電体層上に第2の電極と、が積層され、

前記第1の電極と前記第2の電極のうちの少なくとも一方の電極が導電性ダイヤモンドで構成されていることを特徴とする圧電薄膜振動子。

【請求項2】

第1の電極と、

前記第1の電極上に圧電体層と、

前記圧電体層上に第2の電極と、が積層され、

前記第1の電極と前記第2の電極のうちの少なくとも一方の電極がダイヤモンド膜と金属膜の積層体で構成されていることを特徴とする圧電薄膜振動子。

【請求項3】

前記ダイヤモンド膜と金属膜の積層体において、ダイヤモンド膜の膜厚と金属膜の膜厚の比が両者中の音響振動の伝播速度の比の2.5倍以上であることを特徴とする請求項2に記載の圧電薄膜振動子。

【請求項4】

前記積層構造中に酸化シリコン層が含まれることを特徴とする請求項1乃至3のいずれか一項に記載の圧電薄膜振動子。

【請求項5】

請求項 1 乃至 4 のいずれか一項に記載の圧電薄膜振動子を備えることを特徴とするフィルタ。